



川村敬一議員

住民協働

上豊間根自治会への補助基準は

自治会との協議で補助額を決定

質問 平成19年度の新たな取り組みとして、住民協働により、上豊間根自治会が実施するコミュニティ施設整備に対して補助を行うようである。

補助することにした経緯と補助基準はどうか。

沼崎町長 上豊間根自治会では、現在の集会施設が老朽化したため新たに集会施設を建設するに当たり、自治会の方々が労力や資材を提供し最小の費用で建設をしたいので、町から補助金をいただきたいという要望があった。

町としても、住民協働を進める上で新たな取り組みとなることから、第8次総合発展計画に取り入れて、平成19年度に実施することにした。

また、上豊間根自治会からは、建築面積やそれに見合う補助金の要望であったが、町の同規模地区の集会施設と比較すると規模が大きいため、自治会と協議し補助金額を定め、それ以上の必要な部分については自治会で負担していただくことにした。従って、一定の補助基準は設けていない。

水産行政

漁業系廃棄物堆肥化計画の支援は

事業が採択されれば町も補助

質問 大沢漁協が計画している「漁業系廃棄物堆肥化処理施設」の建設について、町ではどのような支援を考えているか。

沼崎町長 大沢漁協は、平成19年度「岩手県産業・

町の考えを聞く



養殖漁業が盛んな山田湾。漁業系廃棄物の処理対策は大きな課題です

地域ゼロエミッション推進事業」を要望しており、現在、第1次審査を通過し、3月中旬に第2次審査を受ける段階となっている。事業が採択されて県の補助が確定すれば、町としても、

かさ上げ補助をしたいと考えている。

事業の決定後、大沢漁協では、施設建設に向けた事務手続きや、建設後の管理運営などについて、具体的な話し合いを進めることになる。また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく一般廃棄物処理業の許可、「化製場等に関する法律」に基づく施設の設置許可を得る必要があることから、町としては、各段階で助言などをしていきたいと考えている。